

操作性に優れかつ人体への負荷が少ない医療用挿入管

【技術分野】

その他（医療）

【特許番号/公開番号】

特許第 4351562 号

【利用分野・適用製品】

人間あるいは動物の血管、気管、消化管などの体内の管腔内に挿入して使用される医療用の挿入管

【ライセンス情報】

実施許諾 【可】 権利譲渡 【可】

【目的】

挿入管を使った人間あるいは動物の治療にあたって、医師による操作が容易で、治療効果が高く、かつ治療対象への負荷が少ない新しい挿入管を提供することを目的とする。

【事業化情報】

実施実績 【試作】 許諾実績 【無】

【効果】

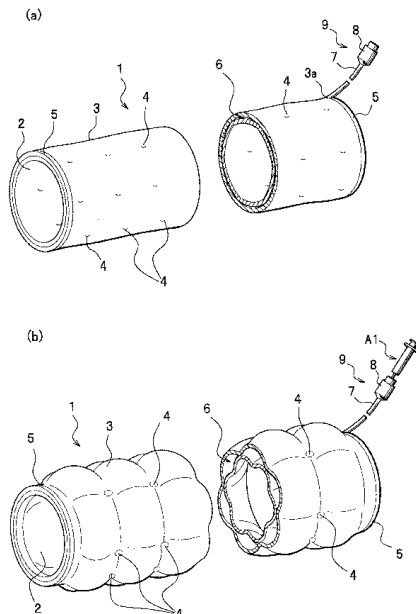
本挿入管を利用した場合、管、気管あるいは消化管などの体内の管腔内の目的位置に留置するまでの操作が容易で、かつ、管路の断面積を大きくすることができ、さらに、接触する管内壁面に対する負荷を低減することが可能となる。

【技術概要】

挿入管は、薄肉の内管と外管の間に流体収納空間部を、間欠接続部および端部接続部により形成していることから、体内の管腔内の目的位置までは全体の径が小さな状態となるように折り畳んだ状態で送り込み、かつ、血液、気体あるいは消化物などの被流体物を流通させるときに所望の管径を確保することができ、操作性および流通性に優れている。

【特記事項・図面・その他】

（挿入管の構造）



左図(a)は、本発明に係る挿入管の一部を切断した状態を模式的に示す斜視図、同(b)は挿入管の流体収納空間部に流体を供給して膨張させた状態を模式的に示す斜視図である。

左図(a)、(b)に示すように、挿入管は、体内の血管、気管、消化管などの管腔内で使用されるもので、生体適合性のある合成樹脂製で薄肉に形成された内管2、外管3と、この内管2および外管3の間に間欠接続部4および端部接続部5、5を介して形成された流体収納空間部6と、この流体収納空間部6に流体を強制的に供給し、かつ流体を強制的に排出する流体入出機構9とを備えている。